



# 営業の中間ご報告

2006年4月1日～2006年9月30日

<第57期>



Credit Saison Co., Ltd.

## 株主の皆様へ

株主の皆様、当社グループの第57期中間期(2006年4月1日～2006年9月30日)の決算につきまして、ご報告申し上げます。

当社グループの主力分野であるクレジットカード事業におきましては、公共料金・税金・医療機関といった分野での決済範囲の拡大や携帯電話を活用した新たな決済手法の広がりなど、お客様の利便性は一層の向上をみせております。他方で、貸金業規制法などの改定の動きもあり、今後の経営環境は加速度的に変化していくことが予想されます。

このような環境の下で当社は、前期に統合を果たしたUCブランドで初の大型提携である(株)ヤマダ電機との合弁会社による「ヤマダLABIカード」の発行や、新生・西武グループとの提携による「プリンスカード」の発行など、引き続き会員基盤の拡大に努め、当社単独で240万件、関連・合弁会社等を含めると、320万件を超えるカード開拓を実現いたしました。また、(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ、KDDI(株)との提携によるおサイフケータイへの対応や、会員向けインターネットサービス的大幅リニューアルによる利便性向上といった、ITを活用したサービス機能の拡充を進めてまいりました。

さらに、業界における一層の競争優位性を実現すべく、(株)静岡銀行との事業提携、(株)高島屋との提携強化など、クレジットカードビジネスを核とした戦略的提携を積極的に推進するとともに、リース事業、信用保証事業、不動産担保融資事業などのクレジットカード事業以外の分野においても事業間のシナジーを追求した展開を行っております。

---

## クレディセゾングループの経営理念

私たちはサービス先端企業として

「顧客満足主義の実践」

「取引先との相互利益の創造」

「創造的革新の社風作り」

の3点を共通の価値観として浸透させ、

競争に打ち勝ち、そして株主の皆様

報いていきたいと考えております。

このような当社単体での事業拡大に加え、当社グループ全体でも、各事業分野における企業価値向上に向けた経営基盤強化を推し進めたことにより、着実な成長を果たすことができました。

他方で、上限金利問題をきっかけとした利息返還請求の増加に鑑み、将来における当該請求に備え、特別損失として利息返還損失引当金繰入額を当中間期に計上いたしました。

結果として当中間連結会計期間における業績は、営業収益1,656億62百万円(前年同期比29.6%増)、経常利益431億87百万円(前年同期比23.2%増)、中間純損失58億98百万円となりました。

今後も当社グループは、予想される急激な変化の波をさらなる企業価値向上の機会と捉え、「サービス先端企業」という経営理念の下、経営資源を最大限に活用したビジネス展開を積極的に進め、今期から始まった新中期経営計画を実現することで株主の皆様へ報いていきたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、「《セゾン》カード」と「UCカード」のご利用とともに、一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2006年12月  
代表取締役社長  
林 野 宏



## CONTENTS

株主の皆様へ	1
第57期中間トピックス	3
営業の概況(連結)	7
セグメント別事業概況	8
中間連結貸借対照表	9
中間連結損益計算書	11
財務ハイライト(単体)	12
中間単体貸借対照表	13
中間単体損益計算書	15
株式の状況	16
会社概要	17

## 第57期中間トピックス

### 戦略的大型提携と関係強化の推進

#### (株)ヤマダ電機とクレジットカード事業における包括提携を締結

2006年6月、ユーシーカード(株)(UC 会員事業会社)との合併後初となる UCブランドでの大型提携が実現いたしました。



ヤマダLABIカード

(株)ヤマダ電機と当社は、クレジットカード事業におけるパートナーとして、

両社が持つ強みを最大限発揮し、円滑な業務運営を行うべく「(株)ヤマダフィナンシャル」を設立し、7月より、(株)ヤマダフィナンシャルとの提携カード「ヤマダLABIカード」をUCブランドで募集を開始いたしました。(株)ヤマダフィナンシャルへは両社から人材を派遣し、カード会員の募集やマーケティング活動、ヤマダポイントの管理業務などを行っております。

家電量販店のリーディングカンパニーであり、全国に319店舗を有する(株)ヤマダ電機との提携により、カード募集チャネルの飛躍的な拡大を図ることができました。

#### (株)静岡銀行との事業提携

2006年7月、(株)静岡銀行とリテールファイナンス事業における事業提携で合意いたしました。両社出資のもと、新会社を9月に設立し、新会社に対し、(株)静岡銀行はクレジットカードの提携先法人紹介、ローン商品の販売などについて協力し、当社は商品開発、販売促進、与信管理、債権回収などについてのノウハウを提供してまいります。



(株)静岡銀行の「地域ネットワーク力」と当社の「顧客視点のマーケティング力」を融合し、より魅力的な金融サービスの提供を実現することにより新たな顧客層を獲得し、地方におけるリテールファイナンス事業の新モデルの確立を目指してまいります。

## 高島屋グループと戦略的提携を強化

2004年4月、(株)高島屋と業務提携を行い、(株)高島屋の子会社である高島屋クレジット(株)に10%の資本参加を実施いたしました。同社との共同開発により誕生した「タカシマヤ《セゾン》カード」は、約70万口座の新規顧客を獲得しております。



タカシマヤ《セゾン》カード

7月には、更なる新規顧客の拡大と既存顧客に向けたサービス向上のため、業務提携と資本提携の関係を一層強化することで合意いたしました。

今後は、高島屋クレジット(株)への出資比率を現在の10%から33.4%まで高め、高島屋グループと当社の資本関係を一層強化する予定です。また、カードマーケティングの共同展開、富裕層向けの新カードの開発・発行、タカシマヤカードプロセッシング業務を当社が受託してまいります。

## 新たな提携カード

百貨店、鉄道、通信、商業施設などの幅広い業界とのアライアンスの拡大により、合計219社との提携カード発行となりました。今後もお客様の視点に立ち、さまざまな分野での提携カード戦略を推進してまいります。

4月



カフトカード  
(株)川徳

4月



KDDI THE CARD《セゾン》  
KDDI(株)

8月



VIOROカード《セゾン》  
(株)プライムプレイス

9月



プリンスカード  
西武グループ

## ブランディング戦略の推進

### 新CMに「ロナウジーニョ選手」起用

2004年・2005年と「《セゾン》永久不滅ポイント」をテーマとし、高齢者が鉄棒の大車輪を行うというインパクトのあるCM「ザ・大車輪」を展開してまいりました。2006年は、サッカー日本代表のサポーターイングカンパニーとして、「サッカー」を最大限に活用し、「International」、「No.1」、「Soccer」のコンセプトとともに、「夢よかなえ。」をキャッチコピーに当社の企業メッセージを発信いたしました。



CMキャラクターには「No.1」を表現するのに最もふさわしいワールドクラスのトッププレーヤー「ロナウジーニョ選手」を起用し、真の「No.1カードイシュー会社」を目指す企業姿勢を訴求いたしました。

## 金融サービスの拡充

### 「セゾンフィナンシャルデスク」のオープン

9月に有楽町西武のリニューアルに合わせ、金融サービス専門の新しい対面カウンター「セゾンフィナンシャルデスク」をオープンいたしました。「セゾンフィナンシャルデスク」では、証券外務員資格を保有する専門スタッフがマネックス証券(株)、トヨタファイナンシャルサービス証券(株)のサービスをご紹介しますながら、口座開設手続きを行います。また、女性や投資家初心者を対象に定期的なセミナーを開催しております。

## ネットサービスの拡充

### モバイル機能の充実

---

2006年5月、《セゾン》カードのモバイルサイトでのカード申込受付(SCE Mobile)を開始いたしました。携帯電話から簡単にお申し込みいただけ、全国30ヵ所のセゾンカウンターで即日カードの受け取りが可能となりました。《セゾン》カード、《セゾン》アメリカン・エクスプレス・カード、〈PARCOカード〉の3種類のカードを対象に、年間3万件のお申し込みを見込んでおります。



また、「KDDI THE CARD《セゾン》」への「《セゾン》QUICPay(クイックペイ)」サービスの提供などモバイル機能の更なる充実に努めております。

### 「Netアンサー」のリニューアル

---

会員向けインターネットサービス「Netアンサー」のリニューアルにより、マルチ  
ペイメントネットワークを活用し、今月  
のご請求金額をオンラインで入金できる「Net  
入金」や、「明細書のデータダウンロード」



おはなし絵本クラブ 閲覧イメージ

など、お客さまの利便性を追求した機能を拡充いたしました。また、2006年6月には、ソフトバンク クリエイティブ(株)と提携し、「Netアンサー」会員向けにデジタル絵本「SAISON CARD おはなし絵本クラブ」の無料閲覧サービスを開始いたしました。

本年度中にNetアンサー会員登録件数200万件を目指してまいります。

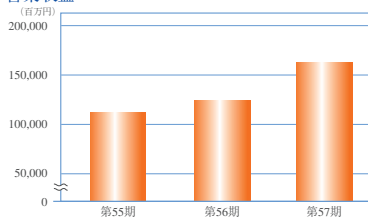
## 営業の概況(連結)

当中間連結会計期間の営業収益は、前年同期比29.6%増の1,656億62百万円、営業利益は前年同期比18.6%増の398億67百万円、経常利益は前年同期比23.2%増の431億87百万円となりました。

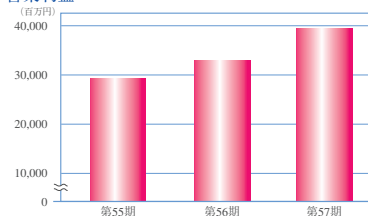
一方、将来における利息返還請求に備えて特別損失として利息返還損失引当金繰入額を計上したこと等により中間純損失は58億98百万円となりました。

右記に、セグメント別の事業概況についてご報告いたします。

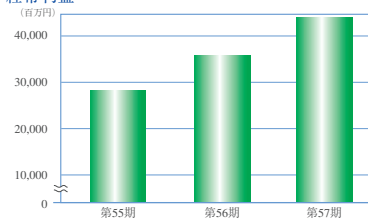
### 営業収益



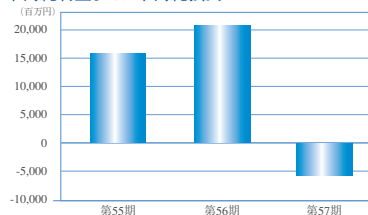
### 営業利益



### 経常利益



### 中間純利益または中間純損失





## セグメント別事業概況

### ■ 信販及び金融事業〔信販業、貸金業、債権回収業等〕

主力事業であるクレジットカード事業においては、当社が日本のカード業界におけるリーディングカンパニーとしての地位を強固にすべく、(株)ヤマダ電機や西武グループ等、さまざまな提携を推進し、「ヤマダLABIカード」や「プリンスカード」等の新規カード発行を開始、また、決済チャネルの拡大に併せた電気・ガス料金や携帯電話料金などの継続決済の強化にも引き続き取り組みました。個人向けをはじめとする融資事業も好調に推移したことから、営業収益1,381億4百万円(前年同期比31.8%増)、営業利益296億45百万円(前年同期比7.1%増)と、共に前年を上回りました。

### ■ エンタテインメント事業〔アミューズメント業等〕

アミューズメント業におきましては、地域に支持される健全で安心、快適な店作りを目指した店舗改装を行ってまいりました。その結果、営業収益94億円(前年同期比6.7%増)、営業利益13億24百万円(前年同期比12.5%増)と、共に前年を上回りました。

### ■ 不動産事業〔不動産流通業、不動産賃貸業等〕

好調な不動産市況の追風を受け、積極的な営業による融資保証事業の成長と付加価値を高めた競争力のある物件の販売が寄与いたしました。不動産賃貸業も安定的に推移した結果、営業収益122億33百万円(前年同期比45.0%増)、営業利益68億31百万円(前年同期比73.1%増)と、共に前年を大幅に上回りました。

### ■ リース事業

一部販売会社の不適切な販売方法によるリース取引のトラブル増加を背景として、「特定商取引に関する法律」の通達改正等が行われました。この影響により、取扱高は419億円(前年同期比9.1%減)にとどまり、営業収益は35億64百万円(前年同期比6.2%減)、営業利益は13億98百万円(前年同期比8.5%減)となりました。

### ■ その他の事業〔保険業等〕

保険代理店業務等から構成されております。営業収益30億64百万円(前年同期比19.6%増)、営業利益30億35百万円(前年同期比134.0%増)となりました。

事業内容	主な関係会社名
信販及び金融事業	(株)セゾンファンデックス、ジェーピーエヌ債権回収(株)、(株)ローン・シーエス・カード*、出光クレジット(株)*、ユーシーカード(株)*、りそなカード(株)*
エンタテインメント事業	(株)ヴァーヴル、(株)ノア企画、(株)エイ・アンド・エイ
不動産事業	(株)アトリウム、(株)アトリウム債権回収サービス、(有)イー・アイ・シー、(株)ハウスプランニング、(株)ウラクアオヤマ
リース事業	主な関係会社はありません
その他の事業	(株)セゾンドイレクトマーケティング、(株)セゾン情報システムズ*、セゾン自動車火災保険(株)*

無印:連結子会社 \* :持分法適用会社

※(株)セゾンドイレクトマーケティングは2006年7月に会社解散を決議、現在、清算手続中

中間連結貸借対照表 (2006年9月30日現在)

資産の部		
科目	金額	増減額
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	56,075	△ 10,239
割賦売掛金	1,551,743	64,729
その他営業債権	486	27
たな卸資産	131,702	9,435
繰延税金資産	16,972	6,353
短期貸付金	100	△ 927
その他の	30,962	△ 8,960
貸倒引当金	△ 57,521	667
<b>流動資産合計</b>	<b>1,730,520</b>	<b>61,086</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
リース資産	157,075	△ 1,505
建物	17,899	△ 428
土地	8,270	20
建設仮勘定	827	△ 877
その他の	13,219	141
<b>有形固定資産合計</b>	<b>197,291</b>	<b>△ 2,648</b>
<b>無形固定資産</b>		
借地権	970	△ 1
ソフトウェア	31,632	3,431
その他の	1,622	1,342
<b>無形固定資産合計</b>	<b>34,225</b>	<b>4,772</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	112,480	9,476
長期貸付金	29,211	△ 697
差入保証金	8,563	△ 196
繰延税金資産	28,374	11,763
その他の	11,017	△ 2,331
貸倒引当金	△ 7,098	660
投資損失引当金	△ 381	—
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>182,167</b>	<b>18,674</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>413,685</b>	<b>20,798</b>
<b>繰延資産</b>		
社債発行費	507	93
<b>繰延資産合計</b>	<b>507</b>	<b>93</b>
<b>資産合計</b>	<b>2,144,713</b>	<b>81,978</b>

(単位:百万円)

## 負債の部

科目	金額	増減額
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	208,974	28,753
短期借入金	354,811	△ 116,046
一年以内に返済予定の長期借入金	42,108	△ 16,666
一年以内に償還予定の社債	40,995	25,070
コマーシャル・ペーパー	102,000	△ 11,000
一年以内に償還予定の債権譲渡支払債務	11,500	△ 500
未払法人税等	21,635	14,537
賞与引当金	2,469	213
役員賞与引当金	87	87
事業整理損失引当金	—	△ 352
利息返還損失引当金	12,147	9,842
割賦利益繰延	4,546	302
その他	34,349	1,213
<b>流動負債合計</b>	<b>835,624</b>	<b>△ 64,545</b>
<b>固定負債</b>		
社債	229,240	12,767
長期借入金	580,068	104,719
債権譲渡支払債務	42,500	△ 5,500
退職給付引当金	6,850	△ 552
役員退職慰労引当金	851	△ 4
保証債務引当金	2,167	426
瑕疵保証引当金	31	△ 4
ポイント交換引当金	32,374	3,351
利息返還損失引当金	33,758	33,758
連結調整勘定	—	△ 194
のれん	149	149
その他	5,888	△ 414
<b>固定負債合計</b>	<b>933,878</b>	<b>148,502</b>
<b>負債合計</b>	<b>1,769,502</b>	<b>83,957</b>

## 純資産の部

科目	金額	増減額
<b>株主資本</b>		
資本金	75,005	547
資本剰余金	78,723	546
利益剰余金	183,409	△ 10,770
自己株式	△ 4,207	△ 52
<b>株主資本合計</b>	<b>332,930</b>	<b>△ 9,728</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	21,035	2,978
繰延ヘッジ損益	92	92
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>21,127</b>	<b>3,070</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>21,152</b>	<b>4,680</b>
<b>純資産合計</b>	<b>375,210</b>	<b>△ 1,978</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>2,144,713</b>	<b>81,978</b>

(注1)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注2)増減額は、2006年3月31日現在の残高との比較になります。

# 中間連結損益計算書 (2006年4月1日~2006年9月30日)

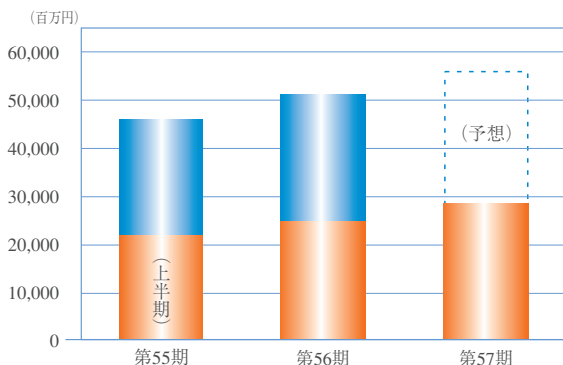
(単位:百万円)

科目		金額		前期比(%)
経常損益の部	営業損益の部	営業収益		
		信販事業収益		132,578
		エンタテインメント売上利益		
		エンタテインメント売上高	71,605	
		エンタテインメント売上原価	62,224	9,380
		不動産事業利益		
		不動産事業収益	58,556	
		不動産事業原価	46,712	11,843
		リース売上利益		
		リース売上高	34,346	
		リース売上原価	30,802	3,544
		その他の売上利益		
		その他の売上高	3,040	
	その他の売上原価	171	2,869	
金融収益		5,446		
営業収益合計		165,662	129.6	
営業費用	販売費及び一般管理費		118,316	
	金融費用		7,478	
	営業費用合計		125,794	133.6
営業利益		39,867	118.6	
営業外	営業外収益		4,540	
	営業外費用		1,220	
経常利益			43,187	123.2
特別損益の部	特別利益			
	投資有価証券売却益	9		
	投資有価証券償還益	276		
	事業整理損失引当金戻入益	390		
	貸倒引当金戻入益	145	822	
	特別損失			
	固定資産処分損失	211		
	減損損失	299		
	投資有価証券評価損	96		
	出資金評価損	55		
	利息返還損失引当金繰入額	40,924		
	リース資産減価償却費	5,447		
	持分変動損失	1,719		
	その他	61	48,815	
税金等調整前中間純損失			△ 4,805	△ 13.9
法人税、住民税及び事業税		20,686		
法人税等調整額		△ 22,130	△ 1,444	
少数株主利益			2,537	
中間純損失			△ 5,898	△ 28.5

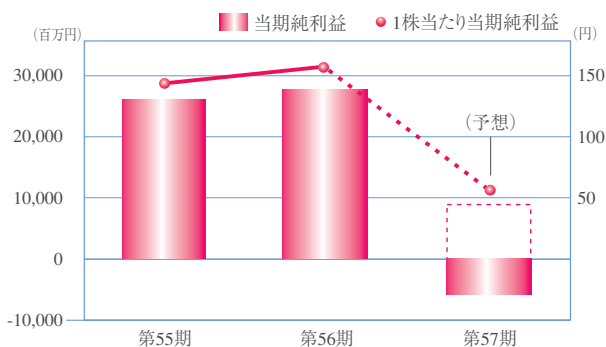
(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 財務ハイライト(単体)

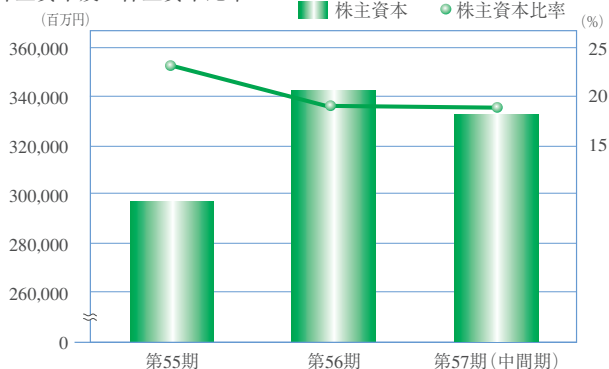
## ■ 経常利益



## ■ 当期純利益及び1株当たり当期純利益



## ■ 株主資本及び株主資本比率



## 中間単体貸借対照表 (2006年9月30日現在)

資産の部		
科目	金額	増減額
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	41,492	4,491
割賦売掛金	1,416,869	52,105
たな卸資産	1,798	119
その他の	37,607	△ 4,635
貸倒引当金	△ 51,224	2,022
<b>流動資産合計</b>	<b>1,446,544</b>	<b>54,102</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
リース資産	157,120	△ 1,525
建物	6,066	△ 85
器具備品	7,418	141
土地	3,642	-
その他の	244	△ 1,222
<b>有形固定資産合計</b>	<b>174,491</b>	<b>△ 2,691</b>
<b>無形固定資産合計</b>		
	<b>31,956</b>	<b>4,567</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	126,079	9,908
出資金	51	△ 55
長期貸付金	33,223	-
差入保証金	2,977	102
その他の	27,915	9,771
貸倒引当金	△ 4,114	△ 2
投資損失引当金	△ 2,054	-
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>184,078</b>	<b>19,725</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>390,526</b>	<b>21,600</b>
<b>繰延資産</b>		
社債発行費	376	78
<b>繰延資産合計</b>	<b>376</b>	<b>78</b>
<b>資産合計</b>	<b>1,837,447</b>	<b>75,781</b>

(単位:百万円)

負債の部		
科目	金額	増減額
流動負債		
支払手形	4,055	2,118
買掛金	203,885	26,834
短期借入金	261,048	△ 92,721
一年以内に返済予定の長期借入金	28,803	△ 12,100
一年以内に償還予定の社債	30,000	20,000
コマーシャル・ペーパー	100,000	△ 13,000
一年以内に償還予定の債権譲渡支払債務	11,500	△ 500
未払法人税等	14,831	14,465
賞与引当金	1,682	△ 101
役員賞与引当金	87	87
利息返還損失引当金	11,121	9,031
割賦利益繰延	4,546	302
その他	27,661	2,460
流動負債合計	699,223	△ 43,122
固定負債		
社債	215,000	15,000
長期借入金	474,520	83,150
債権譲渡支払債務	42,500	△ 5,500
退職給付引当金	5,919	△ 245
役員退職慰労引当金	663	70
保証債務引当金	2,167	426
ポイント交換引当金	32,374	3,351
利息返還損失引当金	29,250	29,250
その他	1,127	122
固定負債合計	803,522	125,625
負債合計	1,502,745	82,502
純資産の部		
科目	金額	増減額
株主資本		
資本金	75,005	547
資本剰余金	78,410	546
資本準備金	78,410	546
その他資本剰余金	0	0
利益剰余金	164,691	△ 11,105
利益準備金	3,020	-
その他利益剰余金	161,671	△ 11,105
別途積立金	157,455	22,000
繰越利益剰余金	4,216	△ 33,105
自己株式	△ 3,677	△ 110
株主資本合計	314,429	△ 10,121
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	20,270	3,398
繰延ヘッジ損益	1	1
評価・換算差額等合計	20,272	3,400
純資産合計	334,701	△ 6,721
負債及び純資産合計	1,837,447	75,781

(注1) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注2) 増減額は、2006年3月31日現在の残高との比較になります。

# 中間単体損益計算書 (2006年4月1日～2006年9月30日)

(単位:百万円)

科目		金額		前期比(%)
経常損益の部	営業損益の部	営業収益		
		総合あっせん収益		47,790
		個品あっせん収益		321
		信用保証収益		2,468
		融資収益		63,264
		業務代行収益		6,098
		リース売上利益		
		リース売上高	34,378	
		リース売上原価	30,814	3,564
		その他の売上利益		
	その他の売上高	3,235		
	その他の売上原価	171	3,064	
	金融収益		5,235	
	営業収益合計		<b>131,808</b>	<b>131.7</b>
	営業費用			
	販売費及び一般管理費		99,224	
	金融費用			
支払利息	6,071			
その他	370	6,442		
営業費用合計		<b>105,666</b>	<b>139.4</b>	
営業利益		<b>26,142</b>	<b>107.6</b>	
損益の部 営業外	営業外収益		3,369	
	営業外費用		133	
経常利益		<b>29,377</b>	<b>117.8</b>	
特別損益の部	特別利益		591	
	特別損失		41,367	
税引前中間純損失			<b>△11,399</b>	<b>△47.1</b>
法人税、住民税及び事業税		14,159		
法人税等調整額		△19,263	△5,104	
中間純損失			<b>△6,295</b>	<b>△42.9</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



## 株式の状況 (2006年9月30日現在)

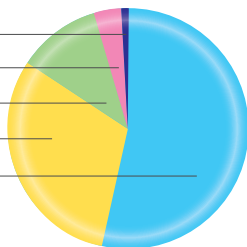
■発行可能株式総数	300,000,000株
■発行済株式の総数	181,133,325株
■1単元の株式数	100株
■株主数	7,690名
■大株主	

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	177,571	9.80
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	147,167	8.12
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	123,524	6.82
(株)西武百貨店	116,000	6.40
(株)みずほコーポレート銀行	46,755	2.58
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505103	40,272	2.22
ザ チェース マンハッタン バンク 385036	36,796	2.03
メソバク エヌイーエーエージェント ファイナンス クライアント メソバオムニバス エヌエスベンジョン	33,738	1.86
チェースマンハッタンバンク ジーティーエス クライアント アカウント エスクロウ	26,299	1.45
アールビーシー デカリア インベスター サービス トラスト ロンドン レンディング アカウント	26,060	1.44

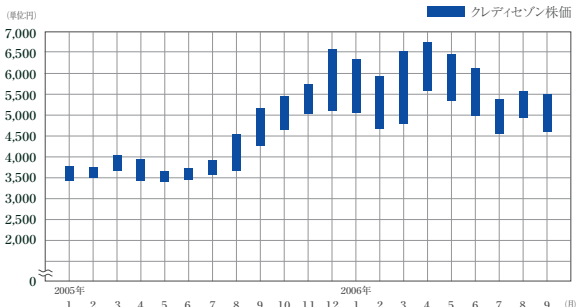
(単位:百株、%)

## ■株式所有者別分布状況

自己名義 0.83%  
 個人 3.27%  
 その他 12.15%  
 金融機関 30.48%  
 外国法人 53.27%



## ■株価推移



## 会社概要 (2006年9月30日現在)

■商号 株式会社クレディセゾン

■英文表記 Credit Saison Co.,Ltd.

■設立 1951年5月1日

■資本金 75,005,672,308円

■従業員数 1,696名 (3,366名)

注: ()内は嘱託、パート及びアルバイトの期中平均雇用人員

- 営業目的
- 1 割賦購入あっせん(クレジットカード等による信用販売)、融資、リース、保証、保険の業務
  - 2 資産運用、投資に係わる総合コンサルティング業
  - 3 不動産賃貸、不動産販売
  - 4 情報処理サービス、その他

■本社 〒170-6073  
東京都豊島区東池袋三丁目1番1号サンシャイン60・52F  
Tel.03-3988-2111(代表)  
ホームページ: <http://www.saisoncard.co.jp>

■役員	代表取締役社長	林野	宏
	代表取締役副社長	前川輝	之
	代表取締役専務	高橋篤	成
	専務取締役	高山本敏	晴
	常務取締役	佐藤浩	通
	常務取締役	鈴木秀	敏
	常務取締役	稲田和	房
	常務取締役	高山直	樹
	常務取締役	北本光	介
	取締役	多田慎	治
	取締役	蔵田憲	三
	取締役	倉田久	幸
	取締役	山光孝	彰
	取締役	山梅恭	眞
	取締役	横野千	輔
	取締役	鈴木日	子
	取締役	金山洪	男
	取締役	山本惠	太
	常勤監査役	酒井敏	朗
	常勤監査役	佐藤敦	夫
	監査役	土岐清	勇
	監査役	山杉	司
			次



## 『株主優待制度』のご案内

### 株主の皆様へ《セゾン》永久不滅ポイントを進呈いたします。

3月末日時点当社株主で、当社カード会員の方に、持株数に応じて《セゾン》永久不滅ポイントを毎年1回、8月中旬に進呈いたします。

※一部《セゾン》永久不滅ポイントの対象とならないカードがございます。

持株数	進呈ポイント数
100株～500株未満	500ポイント
500株～1,000株未満	1,000ポイント
1,000株以上	1,500ポイント

《セゾン》カードは、

### 永久不滅ポイント



いつまでも貯め続けられて、豪華アイテムと交換できる「《セゾン》永久不滅ポイント」。ポイントに有効期限がないので楽しみも大きくふくらみます。

株主優待制度に関するお問い合わせ

株式会社クレディセゾン 総務部総務課 ☎03-3988-2111

(受付時間/平日9:00～17:45 土・日・祝日休み)

## 株主メモ

- |   |                  |   |
|---|------------------|---|
| 1 | 事業年度             | 毎年4月1日から翌年3月31日まで   |
| 2 | 定時株主総会           | 毎年6月開催  |
| 3 | 基準日              | 定時株主総会権利行使株主確定日 3月31日<br>期末配当金受領株主確定日 3月31日<br>その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。  |
| 4 | 1単元の株式数          | 100株  |
| 5 | 株主名簿管理人          | 大阪府中央区北浜四丁目5番33号<br>住友信託銀行株式会社証券代行部   |
|   | 同事務取扱場所          | 東京都千代田区丸の内一丁目4番4号<br>住友信託銀行株式会社証券代行部  |
|   | 郵便物送付及び<br>電話照会先 | 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10<br>住友信託銀行株式会社証券代行部<br>住所変更等用紙のご請求<br>☎0120-175-417(自動音声応答)<br>その他のご照会<br>☎0120-176-417(9:00～17:00、土・日・祝日休み)                 |
|   | ホームページ           | <a href="http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html">http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html</a> |
|   | 同取次所             | 住友信託銀行株式会社本店及び全国各支店   |
| 6 | 公告掲載新聞           | 東京都において発行する日本経済新聞   |

*Realize o seu sonho.*

夢よかなえ。